

## 2 年齢別人口

### 生産年齢人口の割合はすべての都道府県で7割を下回る

年少人口(0～14歳)の割合を都道府県別にみると、沖縄県が18.4%と最も高く、次いで滋賀県が15.3%、佐賀県が14.9%、愛知県が14.8%、福井県が14.6%などとなっている。一方、東京都が11.6%と最も低く、次いで秋田県が12.1%、北海道が12.6%、高知県が12.7%、徳島県が12.9%などとなっている。年少人口の割合は、近年、出生児数の減少によって各都道府県とも低下傾向にあり、平成18年は東京都、神奈川県、愛知県、京都府及び大阪府を除く各道県で前年に比べ低下している。

生産年齢人口(15～64歳)の割合を都道府県別にみると、東京都が69.3%と最も高く、次いで神奈川県及び埼玉県が68.8%、千葉県が68.1%、愛知県が67.3%などとなっている。一方、島根県が59.1%と最も低く、次いで秋田県が60.4%、鹿児島県が60.5%、山形県が60.7%、高知県が60.8%などとなっている。生産年齢人口の割合は、すべての都道府県で前年に比べ低下している。特に東京都が7割を下回ったことにより、すべての都道府県で7割を下回ることとなった。(表11)

表11 都道府県，年齢3区分別人口の割合(各年10月1日現在)

都道府県	平成18年			平成17年			都道府県	平成18年			平成17年		
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)		(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)	(0～14歳)	(15～64歳)	(65歳以上)
全 国	13.6	65.5	20.8	13.8	66.1	20.2	三 重 県	14.1	63.8	22.0	14.3	64.2	21.5
北 海 道	12.6	65.3	22.2	12.8	65.8	21.5	滋 賀 県	15.3	66.1	18.6	15.5	66.5	18.1
青 森 県	13.5	63.2	23.3	13.9	63.4	22.7	京 都 府	13.2	65.9	20.9	13.1	66.7	20.2
岩 手 県	13.5	61.4	25.2	13.8	61.6	24.6	大 阪 府	13.8	66.6	19.6	13.8	67.5	18.7
宮 城 県	13.7	65.8	20.5	13.8	66.2	20.0	兵 庫 県	14.1	65.2	20.7	14.3	65.8	19.9
秋 田 県	12.1	60.4	27.4	12.4	60.6	26.9	奈 良 県	13.7	65.4	20.9	13.9	66.1	20.0
山 形 県	13.4	60.7	25.9	13.7	60.8	25.5	和 歌 山 県	13.5	61.7	24.8	13.8	62.1	24.1
福 島 県	14.5	62.3	23.2	14.7	62.6	22.7	鳥 取 県	13.7	61.7	24.6	14.0	61.9	24.1
茨 城 県	14.0	66.0	20.0	14.2	66.4	19.4	島 根 県	13.3	59.1	27.6	13.6	59.3	27.1
栃 木 県	14.0	66.0	20.0	14.2	66.4	19.4	岡 山 県	14.0	62.9	23.1	14.1	63.4	22.5
群 馬 県	14.2	64.5	21.2	14.4	65.0	20.6	広 島 県	13.9	64.4	21.7	14.1	64.9	21.0
埼 玉 県	13.9	68.8	17.3	14.0	69.5	16.4	山 口 県	13.0	61.2	25.7	13.2	61.8	25.0
千 葉 県	13.5	68.1	18.4	13.6	68.9	17.6	徳 島 県	12.9	62.2	24.9	13.1	62.6	24.4
東 京 都	11.6	69.3	19.1	11.5	70.0	18.5	香 川 県	13.7	62.4	23.8	13.8	62.9	23.3
神 奈 川 県	13.5	68.8	17.7	13.5	69.6	16.9	愛 媛 県	13.4	62.0	24.6	13.7	62.4	24.0
新 潟 県	13.4	62.2	24.5	13.6	62.4	23.9	高 知 県	12.7	60.8	26.6	12.9	61.2	25.9
富 山 県	13.3	62.8	23.9	13.5	63.3	23.3	福 岡 県	13.9	65.7	20.4	14.0	66.2	19.9
石 川 県	14.0	64.4	21.6	14.2	64.9	20.9	佐 賀 県	14.9	62.0	23.1	15.2	62.1	22.6
福 井 県	14.6	62.3	23.1	14.7	62.7	22.6	長 崎 県	14.2	61.5	24.2	14.6	61.8	23.6
山 梨 県	14.2	63.3	22.5	14.4	63.7	21.9	熊 本 県	14.2	61.6	24.3	14.3	61.9	23.8
長 野 県	14.2	61.5	24.4	14.4	61.8	23.8	大 分 県	13.5	61.6	24.8	13.6	62.1	24.3
岐 阜 県	14.4	64.0	21.6	14.5	64.5	21.0	宮 崎 県	14.4	61.5	24.1	14.7	61.8	23.5
静 岡 県	13.9	64.8	21.3	14.2	65.3	20.6	鹿 児 島 県	14.2	60.5	25.3	14.4	60.8	24.8
愛 知 県	14.8	67.3	17.9	14.8	67.9	17.3	沖 縄 県	18.4	65.1	16.5	18.7	65.2	16.1

老年人口(65歳以上)の割合を都道府県別にみると、島根県が27.6%と最も高く、次いで秋田県が27.4%、高知県が26.6%、山形県が25.9%、山口県が25.7%などとなっている。一方、沖縄県が16.5%と最も低く、次いで埼玉県が17.3%、神奈川県が17.7%、愛知県が17.9%、千葉県が18.4%などとなっている。老年人口の割合は、埼玉県、大阪府及び奈良県が前年に比べ0.9ポイント上昇するなど、すべての都道府県で上昇している。なお、年少人口が老年人口を上回っているのは、沖縄県のみとなっている。

(表11)

また、75歳以上人口は、東京都で初めて100万人(東京都の総人口に占める割合は8.2%)を上回ることとなった。

(表12)

表12 都道府県別75歳以上人口

(単位 千人)

75歳以上 人口 順位	都道府県	平成18年	平成17年	75歳以上 人口 順位	都道府県	平成18年	平成17年
-	全 国	12,166	11,639	24	栃 木 県	191	184
1	東 京 都	1,041	989	25	山 口 県	188	182
2	大 阪 府	689	654	26	愛 媛 県	180	174
3	神 奈 川 県	637	601	27	長 崎 県	177	171
4	北 海 道	570	544	28	岩 手 県	168	161
5	愛 知 県	547	520	29	山 形 県	162	156
6	兵 庫 県	518	493	30	秋 田 県	154	148
7	福 岡 県	484	464	31	青 森 県	152	146
8	埼 玉 県	470	445	32	大 分 県	150	144
9	千 葉 県	453	430	33	宮 崎 県	136	131
10	静 岡 県	373	356	34	富 山 県	132	127
11	広 島 県	301	290	35	奈 良 県	132	126
12	新 潟 県	299	288	36	石 川 県	126	121
13	茨 城 県	277	267	37	和 歌 山 県	124	120
14	長 野 県	276	267	38	滋 賀 県	122	117
15	京 都 府	253	244	39	香 川 県	122	118
16	福 島 県	242	233	40	高 知 県	110	106
17	宮 城 県	229	218	41	島 根 県	109	105
18	鹿 児 島 県	227	220	42	沖 縄 県	102	97
19	熊 本 県	227	219	43	徳 島 県	101	98
20	岡 山 県	224	214	44	佐 賀 県	101	98
21	岐 阜 県	212	204	45	山 梨 県	100	97
22	群 馬 県	207	199	46	福 井 県	97	93
23	三 重 県	194	186	47	鳥 取 県	78	75

**老年人口の増加率は埼玉県の5.6%が最高**

老年人口の対前年増加率を都道府県別にみると、埼玉県が5.6%と最も高く、次いで千葉県が5.1%、神奈川県が5.0%、大阪府が4.8%、愛知県が4.5%などとなっており、全国平均(3.3%)を上回っているのは11都府県で、老年人口割合の低い県で増加率が高くなっている。(表13)

表13 都道府県別老年人口及び対前年増加率

都道府県	65歳以上人口(千人)		対前年 増加率 (%)	都道府県	65歳以上人口(千人)		対前年 増加率 (%)
	平成18年	平成17年			平成18年	平成17年	
全 国	26,604	25,761	3.3	三 重 県	413	401	3.0
北 海 道	1,241	1,207	2.8	滋 賀 県	258	250	3.5
青 森 県	331	327	1.4	京 都 府	552	534	3.4
岩 手 県	346	341	1.6	大 阪 府	1,725	1,645	4.8
宮 城 県	482	472	2.3	兵 庫 県	1,155	1,113	3.8
秋 田 県	311	308	0.8	奈 良 県	295	284	4.0
山 形 県	313	310	0.9	和 歌 山 県	255	250	2.1
福 島 県	482	475	1.5	鳥 取 県	149	146	1.6
茨 城 県	595	577	3.2	島 根 県	203	201	1.0
栃 木 県	402	392	2.7	岡 山 県	452	440	2.8
群 馬 県	429	417	2.8	広 島 県	623	603	3.2
埼 玉 県	1,225	1,160	5.6	山 口 県	382	374	2.2
千 葉 県	1,118	1,064	5.1	徳 島 県	201	197	1.7
東 京 都	2,415	2,325	3.9	香 川 県	241	236	2.0
神 奈 川 県	1,561	1,487	5.0	愛 媛 県	360	352	2.1
新 潟 県	592	582	1.7	高 知 県	210	206	1.6
富 山 県	265	259	2.5	福 岡 県	1,033	1,002	3.1
石 川 県	253	246	2.7	佐 賀 県	200	196	1.7
福 井 県	189	186	1.9	長 崎 県	355	349	1.7
山 梨 県	198	194	2.1	熊 本 県	445	438	1.8
長 野 県	533	522	2.0	大 分 県	300	294	2.1
岐 阜 県	455	442	2.9	宮 崎 県	277	271	2.2
静 岡 県	808	780	3.5	鹿 児 島 県	440	435	1.3
愛 知 県	1,311	1,254	4.5	沖 縄 県	226	219	3.2

注) 対前年増加率(%) =  $(\frac{\text{当年の65歳以上人口}}{\text{前年の65歳以上人口}} - 1) \times 100$